

2022 年 11 月 10 日

東急不動産株式会社

LGBTQ への取り組み指標「PRIDE 指標」において 最高位「ゴールド」を 2 年連続受賞

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡田 正志、以下、「当社」）は、企業・団体における LGBTQ などのセクシュアル・マイノリティ（以下、LGBTQ）（※1）への取り組みの評価指標「PRIDE 指標」において、最高位の「ゴールド」を受賞しましたのでお知らせします。

「PRIDE 指標」は、LGBTQ に関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体「work with Pride」が 2016 年に策定した、企業・団体の LGBTQ への取り組みを評価する制度です。

PRIDE 指標の詳細は、下記ウェブサイトをご覧ください。

<https://workwithpride.jp/pride-i/>

当社は、多様な人材が安心して働ける職場を目指し、同性パートナーシップ規程の制定や研修の実施、LGBTQ へのサポート体制を整えてきました。2021 年は、「PRIDE 指標」において、「ゴールド」を初めて受賞し、2022 年は、アライ（Ally）（※2）の活動を会社としてサポートする仕組みを創出するなどの新たな取り組みが評価され、2 年連続で最高位「ゴールド」受賞となりました。

今後も、社内研修、啓蒙活動やイベントへの出席を継続していくことにより、個々の違いを認め合い、従業員が安心して生き活きと働ける環境の整備に努め、企業の成長につなげてまいります。

当社では、「東急不動産ホールディングスグループ人権方針」のもと、性別、年齢、国籍、人種、民族、宗教、社会的身分、障がいの有無、性自認、性的指向などによる差別をなくし、互いに尊重しあえる組織を創ることで、社会に対する価値提供に還元していきます。



（※1）LGBTQ：レズビアン（Lesbian）、ゲイ（Gay）、バイセクシュアル（Bisexual）、トランスジェンダー（Transgender）、クイアやクエスチョニング（Queer や Questioning）の頭文字。セクシャル・マイノリティには LGBTQ 以外の多様なアイデンティティを持つ方もおられますが、PRIDE 指標では便宜的にセクシャル・マイノリティ（性的指向、性自認に関するマイノリティ）の総称として使用されています。

（※2）アライ（Ally）：LGBT を理解し、支援する人を指します。

■ 今回 PRIDE 指標で評価された当社の取り組み事例（今年度の新規施策）

<Representation:当事者コミュニティ>

アライ（Ally）を増やす、もしくは顕在化するための取り組みを実施している、またはアライの活動を会社がサポートしている（アライであることを表明することの推奨等）。

・従業員が自らの意思で参加できる、D&Iに関する社内コミュニティを設立し、多様な人材が活躍できる風土醸成を行っています。

<Engagement/Empowerment:社会貢献・渉外活動>

LGBT への社会の理解を促進するための活動・イベントの主催、協賛、出展。

・他企業と共催で、性的マイノリティーの方に向けたライフプランセミナーを実施しました。

【評価対象期間】

2022 年 1 月 1 日～12 月 31 日

リリース発表日の 11 月 10 日以降、12 月 31 日までに実施予定の取組や施策も対象となります。

■ 法整備への賛同

・ Business for Marriage Equality への賛同

日本で活動する 3 つの非営利団体による、婚姻の平等（同性婚の法制化）に賛同する企業を可視化するためのキャンペーンです。当社も 2021 年 8 月に賛同を行いました。2022 年 11 月 4 日時点で、314 の企業・団体が、婚姻の平等（同性婚の法制化）への賛同を表明しています。

<http://bformarriageequality.net/>

・ Equality Act Japan への署名

日本に「LGBT 平等法」を制定するため、「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」を契機に行われる国際署名キャンペーンです。当社も 2021 年 8 月に署名を行いました。

<https://equalityactjapan.org/>

■ 東急不動産の LGBTQ への取り組みについて

東急不動産では、「美しい生活環境の創造」という理念実現のため、多様な人々の生活に寄りそえるよう、社員の多様性を尊重し、違う価値観を活かし合えるようなダイバーシティ推進を経営の重要課題のひとつと考えています。

私たちは、性別、年齢、国籍、人種、民族、宗教、社会的身分、障がいの有無、性自認、性的指向などによる差別をなくし、互いに尊重しあえる組織を創ることで、社会に対する価値提供に還元していきます。

詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.tokyu-land.co.jp/company/about/health.html>

■ 長期ビジョン「GROUP VISION 2030」で目指す、「環境経営」と「DX」の取り組み

東急不動産ホールディングスは、2021 年に長期ビジョンを発表しました。「WE ARE GREEN」をスローガンに、誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来を実現し、価値を創造し続ける企業グループをめざします。

また、今年 5 月には長期ビジョンに基づき「中期経営計画 2025」を策定、「環境経営」「DX」を通じた独自性のある価値創出を図って参ります。

« 貢献する SDGs »



東急不動産ホールディングス「GROUP VISION 2030」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/>

東急不動産ホールディングス「中期経営計画 2025」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ir/mgtpolicy/mid-term-plan>